6月定例市議会

し尿問題で論戦

実現できるか「恒久施設」

六月定例市議会は六月十七日から二十六日までの十日間の日程で開かれ、岡林、堀川、岡崎、山岡、溝渕（健）、高島、今井、西川、竹内、山崎、井上の各議員が、市長の政治姿勢やし尿問題について質問をしました。特に、〝し尿処理場の建設候補地〟が、三月議会で公になって以来、地元滝本部落で〝建設反対〟の声が大きくなっていることなどから、ほとんどの議員がこの問題を取り上げるなど「し尿問題」で紛糾した議会となりました。

なお、滝本地区がし尿処理場建設に適当な場所であるかどうか調査する「環境アセスメント調査費＝七百万円」は、補正予算に計上されていましたが、議会中に取り下げられました。

また、任期満了となった田内稔治教育委員（国分）と郷久保幸重固定資産評価審査委員（後免町）が、それぞれ再任されました。

市独自の〝行革〟を推進

総合計画は年度内に完成

市長は六月議会に臨み、市政の諸問題について次のように述べました。（要旨）

▼国の行政改革をさけて通れず、市としても自主的に〝行革〟を推進して、行財政の健全性を回復しなければならない。

▼五十六年度決算では約九千六百万円の実質黒字となったが、財政再建の課題について十分な成果を上げ得ないまま今日に至っていることを深く反省し、今後もなお行財政運営の効率化、健全化に努める。

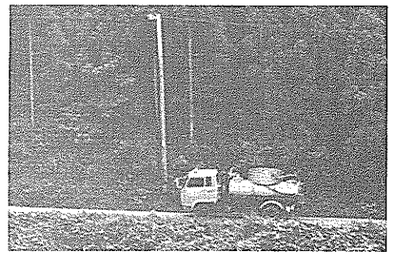
▼懸案の総合計画は体制の強化を図り、本年度中の完成に向けて鋭意努力をしており、従来の財政主導型の行政を見直す。

▼空港整備事業は五十八年末の開港を目指して進められているが、その中で騒音防止対策は、市の要望がほぼ満たされ、五十七・八年度の二カ年間で約四百二十戸の民家防音工事が行われることになっている。さらに、教育施設も香長中・大篠小の工事が引き続き行われる。また、吾岡山の跡地利用は排水対策等、五十七年度から五カ年計画の継続事業で整備される。

▼高速自動車道関係では、工事用道路が天行寺線については完了、西谷線も七〇％以上進み、才谷線は工事中です。

▼同和問題は、新たな「地域改善対策特別措置法」を受けて、「小集落地区改良事業」をメインとして事業の推進を図り、同和問題の解決に一層の努力をしたい。

▼し尿処理問題は、廃棄物処理委員会の協力を得ながら、候補地住民の理解と協力を得るべく努力を続けていきます。



山道を走って、黒滝まで運ぶバキュームカー

一般質問

五十六年度は一、九〇八％を達成しているので、補助金が減額されないよう協力を求めていく。ただ①転作の有利作目がない②所得に大きくつながらない③人手が少ないので転作ができないといった問題もあるようだ。

問 岡豊地区の人口増（医大関係）と高速道路の開通にそなえて、北部地域に消防出張所の設置が急務だと思うが。

答 高速道路、医大周辺の災害や救急業務にそなえて消防出張所が必要であることは間違いないが、場所の選定など検討中だ。

問 し尿処理場建設問題で、候補地滝本部落への話の持っていき方など、手段・方法が間違っていたと思う。執行部は反省をすべきだ。この際、香南し尿処理組合（野市町）へもう一度申し入れをしてみてはどうか。

答 地元交渉におちどがあった点は深く反省している。公金を使い過ぎた点はもう少し配慮すべきだった。香南し尿処理組合へは、地元との話し合いに苦労している旨と聞くので、南国市の問題を持っていくべきではないと考えている。

問 黒滝でのし尿浸透処理は十年が経過、スカム処理の良い方法はないものか。また、定期的に行っている水質検査の結果は。新しいバキュームカー（冷凍車型バキュームカー）に換える計画はないか。

答 スカム（浸透処理をして残った固形物）は自然乾燥を待って埋め立てるしかない。定期的にやっている水質検査（穴内ダムの両国橋の下、瓶岩川など）では問題ない。バキュームカーの外観を変えることには賛成だが、経費の問題と本市の場合は業者が請負っている関係もあるので、今後の課題として検討する。

問 し尿処理場は滝本以外に候補地はないのか。地元の調査では八割以上の住民が反対と聞くが。

答 候補地は今のところ滝本以外にない。「反対をする会」が市当局との話し合いを拒否していることには不満だ。なんとか話し合いのテーブルについてほしいと期待している。

問 し尿処理場建設がタイムリミットになった時には計画を強行するのか。

答 議会の意見を尊重して決定したい。

問 滝本計画を隣接する地区へ話したのか。

答 定林寺部落へ部落長を通じて相談に行った。二十人ほどの出席で会を開くことができた。

問 議会が決定したからといって、し尿処理場を持って行くことは大きな問題だ。議会を尊重するよりも大切なのは地元住民の意見だ。

答 議会の意見を重視するということは、地元民の意見を軽く見ることではない。

問 し尿処理場建設問題は、問題が大きくなった以上、しばらくの間凍結してはどうか。これは滝本部落民の願いでもある。

答 冷静に対処していくことで、ストップはしない。

問 国分橋の開通で広域農道も整備されつつあるが、南部がほとんど進んでいない。一日も早い全面開通が望まれるが、見通しは。

答 南北道路の開通は、市内の交通渋滞の緩和や産業に大きく寄与するもので、早期完成を県に強く要望している。また、南国バイパスから黒潮ラインまでの間は、空港周辺対策事業として進めてもらうよう働きかけている。

問 臨空型工業の誘致について、県にはプロジェクトチームができたが、積極的に進めるためにも、本市にも設けては。また、誘致条例を作ってはどうか。

答 誘致には積極的に取り組むが、地価が高い点や労働力の問題など、臨空型工業誘致で成功した九州に比べると条件は悪い。誘致条例を作ることについては、税金免除などに企業が魅力を感じるか、またそれによって来る企業が優良かどうか問題もあり、今のところは考えていない。

問 吾岡山の法カットに伴う周辺整備対策はどうなっているか。

答 五十七年度から五カ年で、周辺整備を行うことが県と話がついた。市としても排水路の整備などに費用はかかるが、公園化に向けて進んでいる。

問 十市小、稲生小など、老朽危険校舎があり、学校の改築は急務である。「学校建設公社」を設けて計画的な対策をしてはどうか。

答 児童急増のため、六月補正で岡豊小の増築費を計上したが、「学校建設公社」については、絶対必要なものかどうか本年度中に検討する。

一般会計補正予算の主なもの

《総額二億六千万円》

給食室などの建築費が不足したために補正したもの。

今回の補正で、同校の建築費は約三億七千五百万円となりました。

建築内容は、現在の鉄筋三階建て校舎の北側に、下足室、鉄筋三階建ての校舎（十二教室）、それに給食室が建てられます。完成は五十八年三月の予定。

○香長中学校の防音工事費に約一千万円

空港関連による防音工事の不足分を補正したもの。

今回の補正で、同校の防音工事費は約一億一千万円となりました。

○岡豊小学校増築工事費に約二億一千万円

医科大学関係の人口増に伴う生徒数の急増で、教室が不足しているため急きょ増築するもの。内容は、鉄筋三階建ての九教室。完成は五十八年三月の予定。

○比江、国分集会所の建築費に二千二百三十万円

比江山の木材団地誘致に関連する事業で、工業再配置促進事業による国の補助金を得て比江、国分の両地区に建築するもの。

○消防自動車の購入費に八百五十万円

後免分団（後免第二屯所＝東崎）の消防車が老朽したため、新しく購入するもの。

○駐在保健婦室設置に三百五十万円

三和支所廃止により、同支所内にある保健婦室を三和地区公民館内に新しく設置するもの。

○大篠小学校の給食室建築、備品購入費に約八百万円

大篠小学校は、今年も引き続き空港関連の騒音対策事業で防音のための改築工事が行われますが、

飲酒運転追放宣言

家庭で、職場で、地域社会全体で互いに飲酒運転を戒め合い、激増する交通事故を撲滅しようと、小笠原市長は議会最終日の六月二十六日「飲酒運転追放宣言」をしました。

また、六月二十三日には、南国市消防団が「飲酒・暴走運転追放宣言」をしました。